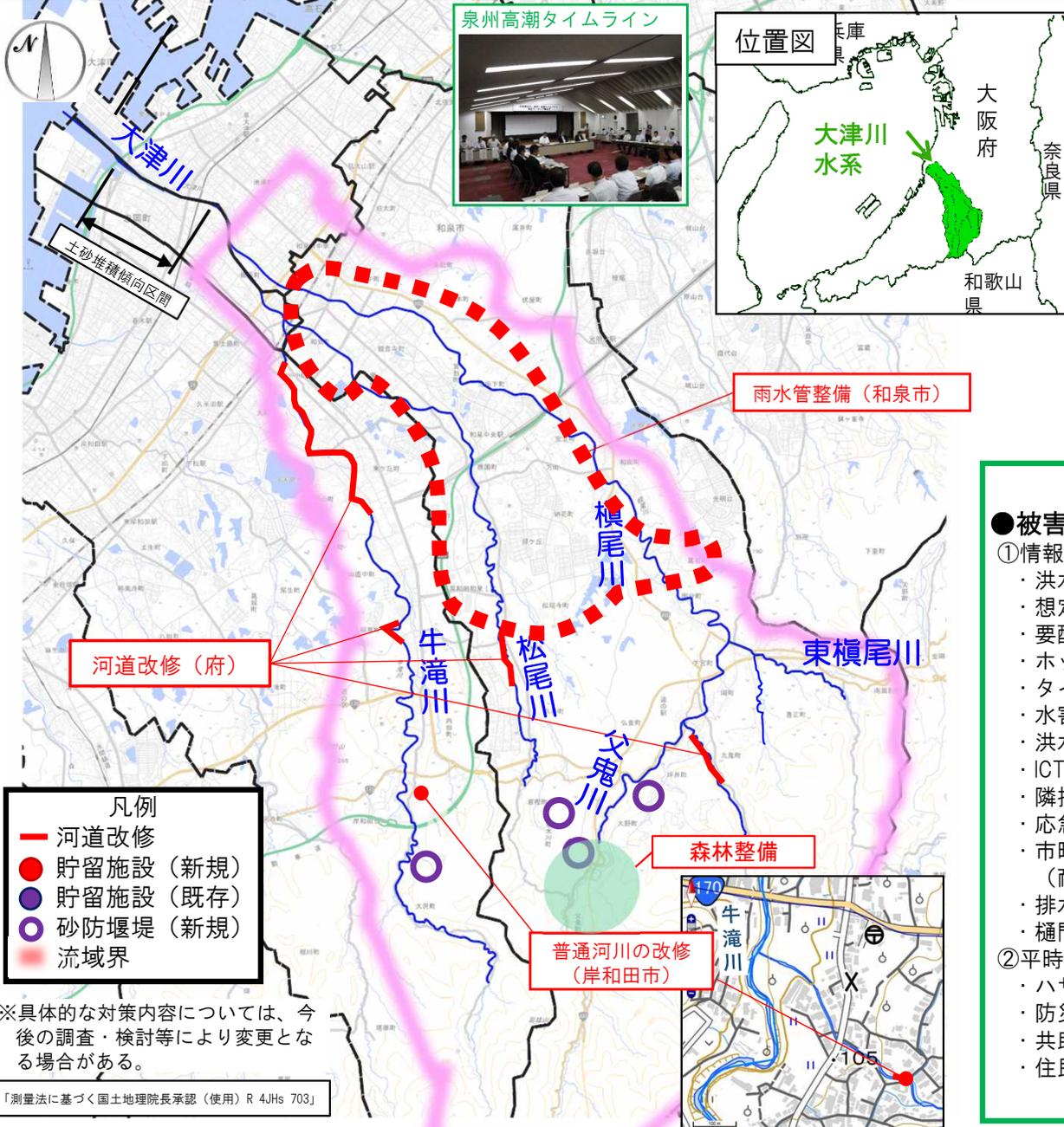


～大阪府最大の二級水系の流域治水～

○牛滝川、松尾川、榎尾川では当面の治水目標に従い、河道拡幅・河床掘削・堤防かさ上げ等による洪水対策を行います。牛滝川は時間雨量65ミリ、松尾川は時間雨量80ミリ、榎尾川は時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、河道掘削【府・市】
- ・貯留施設整備【府】
- ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・市町・民間】
- ・既存貯留施設の治水活用【府・市町】
- ・砂防施設の整備・保全【府】
- ・河道内堆積土砂の撤去
- ・下水道等排水施設の整備【市】
- ・治山施設・森林の整備及び保全【府】

● 被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度
- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

① 情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
- ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市町】
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施【府・市町】
- ・ホットラインの運用 (洪水・土砂・高潮)【府・市町】
- ・タイムラインの策定・運用 (広域・市町域・地域)【府・市町・民間】
- ・水害危険性の周知促進【府】
- ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
- ・ICTを活用した洪水情報の提供【府、気象台】
- ・隣接市町における避難場所の設定 (広域避難体制の構築)等【府・市町】
- ・応急的な退避場所の確保【市町】
- ・市町庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実 (耐水化、非常用発電機等の整備)【市町】
- ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府、市町】
- ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市町】

② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等

- ・ハザードマップの改良、周知、活用【府、市町】
- ・防災教育の推進【府、市町】
- ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市町】
- ・住民一人一人の避難計画 (マイタイムライン)・情報マップの作成促進【府、市町】等

- 大津川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道改修に着手。洪水・雨水出水浸水想定区域の指定。
 - 【中期】 河道改修の推進および気候変動の影響を踏まえた流域治水の検討
 - 【中長期】 1/30確率降雨に対して家屋床上浸水を発生させない対策を完了。気候変動の影響を踏まえた流域治水の検討

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	榎尾川、松尾川の河道改修・河道掘削	大阪府	[進捗バー]		
	牛滝川の河道改修・河道掘削	大阪府	[進捗バー]		
	気候変動の影響を踏まえた流域治水の検討	大阪府	[進捗バー]		
	貯留施設の整備	大阪府	[進捗バー] 新規貯留施設概成		
	ため池の治水活用	大阪府・和泉市・民間	[進捗バー] 調査・検討		
	市河川改修	和泉市・岸和田市	[進捗バー]		
	雨水管整備	和泉市	[進捗バー]		
	砂防施設	大阪府	[進捗バー]		
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府	[進捗バー] 定期点検による継続監視及び状況により適宜実施		
	治山施設、森林の整備・保全（榎尾川・父鬼川・牛滝川）	大阪府	[進捗バー] R6年度より森林環境税を活用した、森林区域での流域治水対策を実施		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府・和泉市	[進捗バー]		
	水害リスクの低い地域への居住誘導（立地適正化計画の策定等）	大阪府・和泉市	[進捗バー]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・和泉市・岸和田市・泉大津市・忠岡町・気象台	[進捗バー] 洪水浸水想定区域指定拡大完了(R5年度) 雨水出水浸水想定区域図作成・公表(R7年度)		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・和泉市・岸和田市・泉大津市・忠岡町	[進捗バー]		

※流域市町：和泉市、岸和田市、泉大津市、忠岡町

河川整備等による効果

河道拡幅や河床掘削等の整備の推進により、

牛滝川、槇尾川：時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

松尾川：時間雨量80ミリ程度（1/100）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

耐水型整備の推進により、

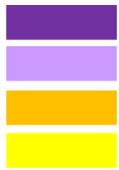
東槇尾川：時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

現状

整備後

時間雨量65ミリ程度の降雨に
対し、家屋床上浸水が解消

高頻度（1/10）
中頻度（1/30）
低頻度（1/100）
想定最大規模



「測量法に基づく国土地理院長の承認（使用）」（申請中）

※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（R1）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率:96%

(令和5年度末時点)

農地・農業用施設の活用



3市町

(令和5年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設

(令和5年度末時点)

山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



治山対策 0箇所
土石流対策 34施設

(令和5年度実施)

立地適正化計画に
おける防災指針の作成



2市町

(令和5年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域 6河川

雨水出水
浸水想定区域 0団体

(令和5年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 160施設
土砂 2施設
高潮 11施設
避難訓練 0施設

(令和5年9月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ため池の治水活用（光明池等）



古くより多くの灌漑用ため池があり、降雨時に雨水を一時的に貯留する機能を有しています。

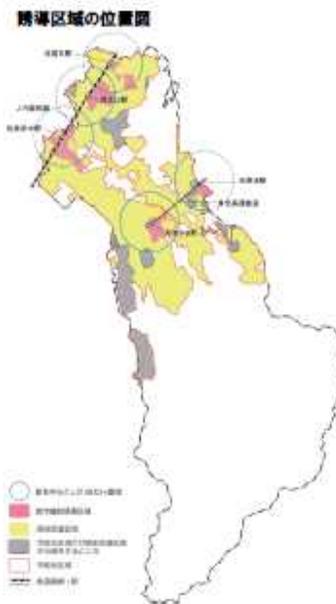
被害対象を減少させるための対策

和泉市の立地適正化計画策定の取組

現在の市街化区域を基本とし、以下の区域を除外した範囲を居住促進区域として設定します。

<居住促進区域から除外する区域>

- 土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、浸水想定区域（0.5m以上）
- 地区計画により住宅の建築が制限されている区域
- 都市計画上の工業専用地域
- 市街化調整区域
- 生産緑地地区
- 大規模公園・緑地
- その他住宅の立地を促進すべきでない区域（遺跡、土地利用転換が見込まれない大規模な公共用地）



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

コミュニティタイムライン作成の取組

和泉市では、令和4年度までに3地区のコミュニティタイムラインを作成し、災害時に府民一人ひとりの避難行動につながるよう取り組んでいる。



【コミュニティタイムライン作成促進説明会】